

信じあえば…
愛しあえば…
助けあえば…
紙のお月様だって
ほら！本物に
見えるでしょ

きのうへ忘れられた
《心の宝石》を
ライアン・オニール父娘が
あなたに捧げる——
愛と涙と笑いの
心あたたまる名篇！



ライアン・オニール
テータム・オニール
監督ピーター・ボグダノビッチ
パラマウント映画
CIC配給



ペーパー・ムーン

全編に流れる世界の懐しのメロディ15曲
サントラ盤＜パラマウント・レコード＞■原作（早川書房刊）

ペーパー・ムーン

サン・セバスチャン映画祭 3 賞受賞
最優秀審査委員賞・最優秀脚本賞・最優秀撮影技術賞



The Directors Company presents
RYAN O'NEAL
A
PETER BOGDANOVICH
PRODUCTION
"PAPER
MOON"



パラマウント映画/CIC配給



解説

愛しあうことのすばらしさ、信じあうことの美しさ、助けあうことの力強さ——
きのう、もしあなたが「心の宝石」をどこかへ忘れてしまっているならば、これはとてもすてきな物語。

「ある愛の詩」のライアン・オニールと、彼の愛娘テータム・オニールが父娘初共演。テータムは今年10才。もちろん映画はこれが初めて。無邪気な愛らしさと天衣無縫な好演で早くもアカデミー賞主演賞の呼び声が高い。監督は「ラスト・ショー」「おかしなおかしな大追跡」のピーター・ボグダノビッチ。既にアメリカを代表する監督の一人で、「ゴッド・ファーザー」のフランシス・F・コッポラ、「フレンチ・コネクション」のウイリアム・フリードキンと共に結成したディレクターズ・カンパニーの第一作が、この「ペーパー・ムーン」。

原作はジョー・デビッド・ブラウン。発表と同時に大変な評判をよび、ニューヨーク・タイムズ、ライフ等の書評欄で絶賛され、たちまちベスト・セラーとなった。

一九三〇年代、不況時代のアメリカを本当の父親なのか、本当の娘なのか、分らぬままに陽気なベテン旅行の二人三脚。

そして流れる音楽はクラシック・カーのラジオから、小さなホテルの古いラジオから、ビング・クロスビーの歌声が、トミー・ドーシー楽団の軽快なスイングが、ポール・ホワイットマン楽団の甘いダンス・ナンバーが、またビクター・ヤング、ホーギー・カーマイケル等の世界を風びした音楽が使われている。

物語

アディ(テータム・オニール)は九つ。母親が自動車事故で亡くなった今、身寄りはミズリーにいる叔母だけだった。形ばかりの埋葬の場で、モーゼ(ライアン・オニール)は、牧師夫妻からアディを叔母の家へ届けるように頼まれてしまった。アディの母は酒場づとめをしてモーゼと深い関係にあったのだ。ついミズリーへ聖書のセールスに行くと言ってしまった手前、渋々引き受けざるをえなくなった。しかし彼は転んでもただ起きる男で

はない。事故を起こした男の兄を訪ね、ままと示談金二百ドルをせしめ、その金で今まで乗っていたボロの三十年型フォードを新車に買い換えた。じやまっけなアディは汽車にのせてボイしようとした。ところがアディは目から鼻へぬけるという言葉がビットリのお利口さん。モーゼが二百ドルをカモるのを聞いて、私のお金だから返してと主張する。返してくれないければ汽車に乗らないと。会った事もない叔母の家へ行っても冷たくされるかもしれないし、それ以上になんとかこのトッポイ男が気に入っていたのだ。近所のカミさん連中から、あなたのパパはモーゼかも知れないと聞かされた事もある。そういえばアゴの線がそっくりだ。

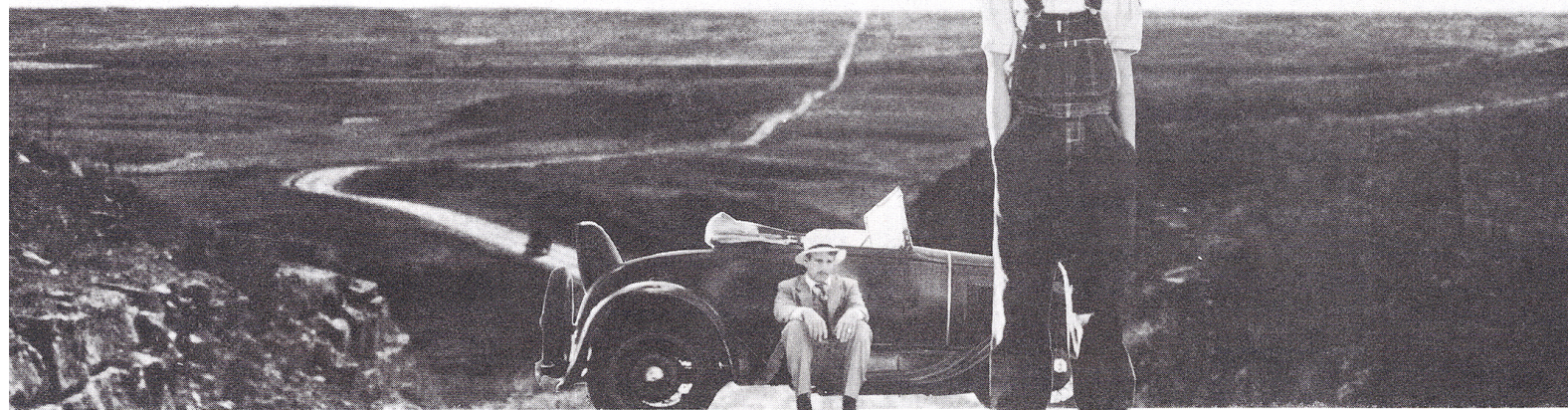
モーゼにとつていきなり母なし子の父にされてはたまらないけれど、金を使ってしまった以上、しかたないミズリーまで子連れセールスマンといくよりほかなかった。

モーゼの聖書の売り方は、新聞の死亡記事を見て未亡人を訪ね、彼女の名を金文字で入れた聖書を見せて、ご主人に注文されたときにくしたてる。ついホロツときた未亡人からまんと小金をせしめてドロン。やがて車から見ていて手口を知ったアディが口を差し出す。相手が金持なら吹っかけ、貧乏人ならタダで、ヤバイとみれば雲をカスミ。当然モーゼは邪魔と思った小娘の才覚を見直す。

それから延々ミズリーまで父娘のフリをした二人の愉快なベテン師旅行が始まった。叔母の家へ着いたその日、思ったより優しい一家だった。でもアディの胸にはモーゼと過ごした楽しい日々が忘れられない。思わず荷物をつかむと表へとび出した。道のずつと向こうにモーゼのオンボロ車が停まらている。「モーゼ、まだ二百ドル貸したままよ」モーゼがアディの荷物を受け取った。二人の行手には白く細い道がどこまでもつづいていた。

たとえ 紙のお月様でもー
海は ポール紙でもー
私を信じてくれたら
すべて本物

3月9日(土)より
大公開!!



3月9日(土)よりー同時上映ー 只今特別鑑賞券発売中!!
ロードショウ!! カラー作品 ￥570 (当日窓口
別れのクリスマス 一般800円・学生700円
のところ)

千葉 京成ローザ
京成千葉駅前 (22)5147